

みやぎけん

第2版

# こどもの 救急 ガイドブック



発行 宮城県

# はじめに

「夜中、こどもが急に熱を出した！」  
すぐに医療機関を受診した方がいいか、明日の診療時間まで待った方がいいか どうしよう？

そんなときに、このガイドブックを手にとってみてください。  
お子さんの急な発熱やケガなどについて、症状別に医療機関へのかかり方のおおよその目安や家庭での対処方法、お医者さんにかかるときに伝えることなどについてまとめています。  
ぜひ、目に付きやすいところにおいていただき、ご活用ください。  
また、いざというときに、あわてないように、普段から、ときどきご覧になってみてください。

※このガイドブックは生後1ヶ月から6歳ぐらいの乳幼児のお子さんを想定して作られています。  
※主に、日曜日・祝日・夜間の急病等を想定してまとめています。

## もくじ

こどもの救急医療情報	2
発熱	3
新型インフルエンザ	5
けいれん・ふるえ	7
せき(ゼゼゼする)	9
腹痛・便秘	11
下痢	13
吐き気・吐いたとき	15
誤飲(変なものを飲み込んだ)	17
やけど	19
頭を打った	21
かけがえのない地域医療を守るため	23
診察を受けるときに	26

「みやぎけんこどもの救急ガイドブック」は、社団法人日本小児科学会「こどもの救急」、「子どもの事故と対策」、「ホームページこどもの救急」及び厚生労働省、社団法人日本小児科学会「新型インフルエンザ保護者向けパンフレット」を参考に作成しています。  
また、社団法人宮城県医師会と、社団法人日本小児科学会宮城地方会に監修をいただいています。

# こどもの救急医療情報

## こども夜間 安心コール

急な発熱やケガなどでお困りのときに、応急処置などの対応方法を看護師が電話で相談を受け付けています。

- 電話番号 #8000 (プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)  
022-212-9390 (プッシュ回線以外の固定電話、PHS等から)
- 相談日時：毎日午後7時～ 翌朝午前8:00



休日や夜間には、地域の診療所などが当番で治療を行っています。また、県内には7カ所の休日夜間急患センターが設置されています。地域ごとに当番日や診療時間が異なりますので、新聞や市町村の広報紙、県のホームページ、電話・FAXによる休日・夜間診療案内等で、確認をおきましょう。

- 県のホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryuu>
- 休日・夜間診療案内電話番号

案内地域	案内電話番号
白石市・角田市・刈田郡・柴田郡・伊具郡	0224-53-3409
仙台市	022-216-9960
名取市・岩沼市・塩竈市・多賀城市・富谷市・亘理郡・宮城郡・黒川郡	022-216-9970
大崎市・栗原市・登米市・加美郡・遠田郡	0229-24-2267
石巻市・東松島市・牡鹿郡	0225-95-3290
気仙沼市・本吉郡	0226-24-2154

- 休日夜間急患センター

名称・所在地	電話番号	小児科の診療受付日時
仙台市北部急患診療所 仙台市青葉区堤町 1-1-2	022-301-6611	金曜：19:15～23:00 土曜：14:45～23:00 日祝：9:45～23:00
仙台市夜間休日こども急病診療所 仙台市太白区あすと長町 1-1-1 (仙台市立病院 1階)	022-247-7035	平日：19:15～翌7:00 土曜：14:45～翌7:00 日祝：9:45～翌7:00
広南休日内科小児科診療所 仙台市太白区長町 5-9-13	022-248-5858	日祝：9:00～17:00
泉地区休日診療所 仙台市泉区泉中央 2-24-1	022-373-9197	日祝：9:00～16:00
名取市休日夜間急患センター 名取市下余田字鹿島 74-3	022-384-0001	土曜：18:00～21:00 (12月～3月) 日祝：9:00～16:30
塩釜地区休日急患診療センター 塩竈市錦町 7-10	022-366-0630	土曜：18:30～21:30 日祝：8:45～16:30
石巻市夜間急患センター 石巻市蛇田字西道下 71 (石巻赤十字病院敷地内)	0225-94-5111	月～金曜：19:00～22:00 土曜：18:00～翌7:00 日祝：18:00～翌6:00

※診療時間には、昼休み等の時間帯が含まれていますので、各医療機関にお問い合わせください。

## 在宅当番医 制と休日夜 間急患セン ター



## お子さんの月齢は？

3カ月未満

3カ月～6歳

次の症状はみられますか？

- 元気がなく、ぐったりしている。
- おしっこが出ない。
- 活気がない。
- よく眠れずにウトウトしている。
- 水分をとるのをいやがる。

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が

1つ以上ある

ない

休日夜間急患センター等を受診しましょう。

様子を見ながら診療時間になるのを待ってかかりつけ医の先生に診てもらってください。

ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患センター等を受診しましょう。

# 発熱 (38℃以上)

## ご家庭で

- 熱の出始めは寒気がするので温かめに、熱が出きったら涼しくしてあげましょう。
- お子さんが暑そうなら涼しく、寒そうなら温かく、衣服や布団を調整してあげましょう。
- 水分補給をこまめにしましょう。
- お子さんが気持ちよさそうだったら、氷枕などで冷やしてあげましょう。
- 汗をよくかくので、着替えをこまめにしてあげましょう。
- 熱があっても元気そうな場合、解熱剤は使用しないようにしましょう。

👉 嘔吐を伴ったときは、「吐き気」(15ページ)もご覧ください。

## お医者さんに伝えましょう

- 1 「いつから」「何度の熱が」「どのくらい」続きましたか？
- 2 何かお薬をあげましたか？

👉 飲ませた場合、お薬の説明書(お薬手帳など)を持っていきましょう。





発熱したお子さんを見守るポイント

## こんな症状を 認めたらもう一度 受診しましょう



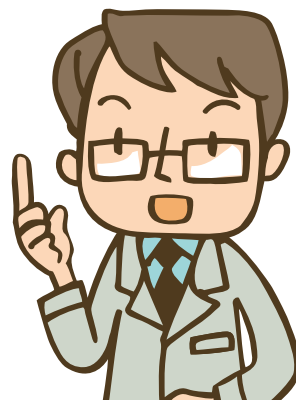
新型インフルエンザであっても、ほとんどのお子さんが季節性インフルエンザと同様に、3日から5日間発熱が続いた後に自然に治ります。しかし、まれに急性脳症、心筋炎、肺炎を合併したり、脱水を起こすことがあります。そこで、自宅で療養するときには、お子さんをひとりにせず、右頁に示すような症状に気をつけて、定期的に状態を見守るようにしましょう。

# 新型インフルエンザ

自宅で療養しているお子さんの状態を定期的に確認してください。そして、お子さんに次のような症状を認める場合は、なるべく早く医療機関で診察を受けましょう。

## 新型インフルエンザ症状チェックポイント

- 手足を突っ張る、がくがくする、眼が上を向くなど、けいれんの症状がある。
- ぼんやりしていて視線が合わない、呼びかけに答えない、眠ってばかりいるなど、意識障害の症状がある。
- 意味不明な事を言う、走り回るなど、いつもと違う異常な言動がある。
- 顔色が悪い(土気色、青白い)。唇が紫色をしている(チアノーゼ)。
- 呼吸が速く(1分間に60回以上)、息苦しそうにしている。
- ゼーゼーする、肩で呼吸をする、全身を使って呼吸をするといった症状がある。
- 「呼吸が苦しい」、「胸が痛い」と訴える。
- 水分がとれず、半日以上おしっこが出ていない。
- 嘔吐や下痢が頻回にみられる。
- 元気がなく、ぐったりしている。



※ここに挙げた症状以外でも、いつもと様子が違って心配な場合には、かかりつけの医師などの医療機関に相談してください。

上記のような点に注意すれば、新型インフルエンザは、家庭で特別な対応をしなければならない病気ではありません。周囲への感染防止に配慮しながら、発熱したお子さんをいつものように家庭で見守ってあげてください。



## どのような症状がみられますか？

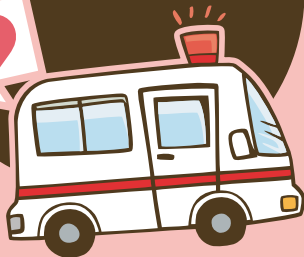
- けいれんが止まっても、意識がもどらない。
  - 唇の色が紫色で、呼吸が弱い。
- 症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が1つ以上

「はい」がない

救急車を呼び  
ましょう

119



- けいれんが5分間以上続く。
- 生まれて初めてのけいれんである。
- 生後6カ月未満（あるいは6歳以上）。
- けいれんの時の体温が38℃以下だった。
- けいれんに左右差がある。
- 吐く、おしっこを漏らす。
- 最近、頭を激しくぶつけた。
- 何度も繰り返しけいれんがおこる。

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が1つ以上

「はい」がない

休日夜間急患セ  
ンター等を受診  
しましょう。

- すでに診断がついており、今までにも何度かおこったことがあるけいれん発作（てんかん）。
  - けいれんか、どうか分からない。
- この欄にしか「はい」がない。

様子をみながら診療時間になるのを待って  
かかりつけ医の先生に診てもらってください。

ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患センター等  
を受診しましょう。



# けいれん・ふるえ

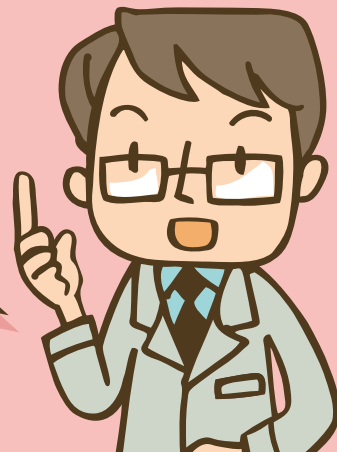
## ご家庭で

- お子さんを静かに仰向けに寝かせ、顔を横向けにしましょう。
- 衣服をゆるめましょう。
- 体をゆすったり、たたいたりしないようにしましょう。
- 口に割りばしを入れたり、指を入れたりしては、いけません。
- けいれんが右半身だけといった左右差がないか、また、体温は何度か確認しましょう。

## お医者さんに伝えましょう

- 1 「いつから」「どんなけいれんが」「どのくらい」続きましたか？
- 2 意識がない時がありましたか？意識がなかったのは、いつ頃、どのくらいの長さでしたか？
- 3 けいれんに右半身、左半身だけのような左右差がありますか？
  - 左右差はない。
  - 右半身のけいれんが強い。
  - 左半身のけいれんが強い。
- 3 けいれんがみられたときの体温は何度ありましたか？  
測っていない場合は、発熱はありましたか？ありませんでしたか？

けいれんの際は  
体をゆすったり、たたいたりしない、  
口に割りばしを入れたり、  
指を入れたりしないこと！





## どのような症状がみられますか？

- 声がかすれる。犬の遠吠えやオットセイの泣き声みたいに咳き込む。
- 38.0℃以上の発熱がある。
- ゼーゼー、ヒューヒューいう。
- 息苦しそうである。
- 呼吸が速い。
- グッタリしている。
- 水分をとりたがらない。
- 唇や口の周りが紫色となる。  
(いわゆるチアノーゼ)

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が

1つ以上ある

ない

休日夜間急患センター  
等を受診しましょう。

様子を見ながら  
診療時間になるのを待って  
かかりつけ医の先生に  
診てもらってください。

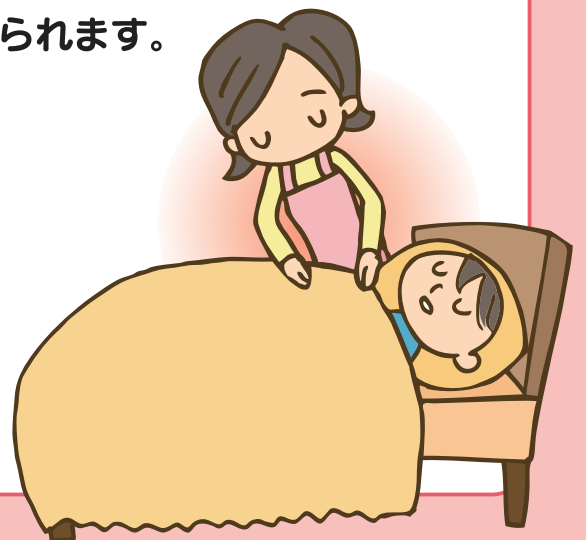
ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患  
センター等を受診しましょう。

# せき（ゼエゼエする）

## ご家庭で



- **まずは唇の色を観察！**  
泣いた際に、唇の色が明らかに暗赤色や紫色を示す場合には、熱の有無や原因に関わらず、休日夜間急患センター等を受診すべきでしょう。
- 部屋が乾燥しているときは、加湿しましょう。
- タンがきれいやすいように、のどに刺激の少ない水分を少しずつ何度も飲ませましょう。
- 気管支が弱い（あるいはぜんそく気味）と言われたことがありますか？  
お子さんご本人用に処方された手持ちの気管支拡張剤があれば、それを飲ませて（シールの場合は、1枚貼って）30分から1時間くらい様子を見てください。  
咳が軽くなったり、よく眠れるようになったりしたら、そのまま様子を見て大丈夫でしょう。ただし、翌日必ずかかりつけ医の先生を受診してください。
- 何か食べていたり、口にくわえて遊んでいたたりしませんでしたか？  
数分前まで、何ともなかったのに（お茶にむせたかのように）急に咳が止まらなくなりましたか？咳が短時間で止まるようなら心配ありませんが、咳き込みが続くようならば受診した方が良いでしょう。  
特にピーナッツなどの豆類を食べていた場合は要注意です。
- だんだんと犬の遠吠えみたいな太い声になっていませんか？  
この場合、なるべく泣かせないようにすることが最も重要です。お子さんを抱っこして落ち着かせてあげましょう。
- 昼間に比べて、夜にひどくなることが多くみられます。  
昼間であれば夕方遅くならないうちに、早めに受診しておいた方がいいでしょう。  
夜でもあやしているうちに、すやすや寝てしまうようでしたら、翌朝まで待って受診しても大丈夫です。ただし、お子さんの声がかすれて聞こえなくなる程ひどければ、受診した方が無難でしょう。





## どのような症状がみられますか？

- 血便がみられる。
- おまた（陰のう、股のつけね）を痛がる。
- おなかをぶつけた。もしくは打った後の腹痛。
- おなかがパンパンにふくらんでいる。
- 不機嫌だ。
- コーヒーの残りカスのようなものを吐いた。
- さわると痛がる。
- 泣き止まない。
- だんだんとひどくなる。
- がまんできない痛み。
- 発熱がある。

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が1つ以上

「はい」がない

休日夜間急患センター等を受診しましょう。

- 数日、便が出ていない。
- おへその周りを痛がる。
- ウンチをしたら痛みがやわらいた。
- がまんできる程度の軽い痛み。
- 元気そうだ。

この欄にしか「はい」がない。

様子をみながら診療時間になるのを待ってかかりつけ医の先生に診てもらってください。

ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患センター等を受診しましょう。





## お子さんの月齢は？

3カ月未満

3カ月～6歳

次の症状はみられますか？

- 元気がなく、ぐったりしている。
- 3時間以上おしっこが出ない。
- 吐く、もどす、嘔吐がある。
- 38.0℃以上の発熱。
- 唇や口の中が乾燥している。

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が1つ以上

「はい」がない

休日夜間急患センター等を受診しましょう。

次の症状はみられますか？

- 元気がなく、ぐったりしている。
- おしっこが出ない。色の濃いおしっこをする。
- 活気がない。だるそうにしている。
- よく眠れずに、ボーっとしている。
- 水分をとるのをいやがる。
- 目がくぼんでいる。
- 唇や口の中が乾燥している。
- 38.0℃以上の発熱。

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が1つ以上

「はい」がない

様子をみながら診療時間になるのを待ってかかりつけ医の先生に診てもらってください。

ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患センター等を受診しましょう。

## ご家庭で



- 赤ちゃんや小さなお子さんの下痢は、長引くこともありますが、あわてなくても大丈夫です。一番大事なのは、上手な水分補給とミルクや食事の調整です。
- お腹が空くのは体調がいい証拠ですが、普段と同じ量のミルクや食事では消化不良の後押しになってしまいます。1回に飲むミルクの量を減らしたり、濃い果汁を避けたりしてみましょう。離乳食を食べている赤ちゃんなら、一旦離乳食をやめるか、おかゆだけにするといいでしょう。
- 熱や吐き気がなくても、翌日には、かかりつけの先生に診てもらいましょう。

## お医者さんに伝えましょう



- 1 ウンチの回数を伝えましょう。  
「いつから」「何回くらい」「どれくらいの量」出ていますか？
- 2 ウンチの色はどれに近いですか？  
 白っぽい  黒っぽい  赤っぽい  緑っぽい  
 その他（ ）  
☞ 普段と違うウンチがあったらオムツをとっておき、受診する際にお医者さんにみせましょう。
- 3 ウンチはどんなにおいがしますか？  
 腐ったようなにおい  酸っぱいにおい  いつもと同じ  
 その他（ ）
- 4 おうちで他に下痢をしている人がいますか？
- 5 水分はとれていますか？  
 とれている→（量： ）  
 とれていない（どれくらいの期間： ）



## お子さんの月齢は？

2カ月未満

2カ月～6歳

次の症状はみられますか？

- 母乳、ミルクのたびに勢いよく嘔吐を繰り返す。
- おなかがはっている。
- おなかがひどく痛そうだ。
- 血液や胆汁(緑色の液体)を吐いた。
- 元気がなく、吐く。
- 活気がない。無気力。
- いつもと違う様子である。
- 12時間以上、何度も下痢をしている。
- おしっこが出ない。
- 唇が乾いている。
- ボーっとしていたり、ちょっとした刺激に過敏に反応したりする。

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が  
1つ以上

「はい」が  
ない

休日夜間急患センター  
等を受診しましょう。

次の症状はみられますか？

- おなかがはっている。
- がまんできないほどの激しいおなかの痛みを訴える。
- 血液や胆汁(緑色の液体)を吐いた。
- 元気がなく、吐く。
- 活気がない。無気力。
- いつもと違う様子である。
- 12時間以上、何度も下痢をしている。
- おしっこが出ない。
- 唇が乾いている。
- 頭痛を訴えており、ボーっとしていたり、ちょっとした刺激に過敏に反応したりする。

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が  
1つ以上

「はい」が  
ない

様子をみながら診療時間になるのを待ってかかりつけ医の先生に診てもらってください。

ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患センター等を受診しましょう。





# 誤飲(変なものを飲み込んだ)

電話で相談  
こども夜間安心コール  
#8000  
19:00~8:00



## どのような症状がみられますか？

意識はありますか？

なし

ある

## 飲んだものはどれですか？

何を飲んだかわからない。

- ボタン電池
- 硬貨
- 灯油
- ベンジン
- 除光液
- 洗剤
- 漂白剤
- しょうのう(樟脳) など

- たばこ
- ホウ酸団子(ゴキブリ用殺虫剤)
- ナフタレン
- パラジクロルベンゼン
- 大量の医薬品 など  
(ナフタレンやパラジクロルベンゼンは防虫剤などに使用されています。)

- 化粧品
- シャンプー
- 芳香剤
- せっけん
- クレヨン
- シリカゲル
- マッチ
- 粘土
- 保冷剤
- 水銀
- 植物活力剤 など

吐かせてはいけません。

すぐに吐かせましょう。

経過を観察しましょう。

休日夜間急患センター等を受診しましょう。



ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患センター等を受診しましょう。

# 誤飲(変なものを飲み込んだ)

## ご家庭で



- 誤って異物を飲み込んだときは、意識はどうか、呼吸は規則正しいか、顔色は良いか、吐いていないかを確認しましょう。
- 異物を飲んだときの応急処置が分からない場合は、(財)日本中毒情報センター(中毒110番)に問い合わせてください。

大阪中毒110番 072-727-2499 (365日24時間対応)  
つくば中毒110番 029-852-9999 (365日9時~21時対応)  
\*タバコ専用電話(テープによる情報提供)  
072-726-9922 (365日24時間対応)

- ピンやガラスの破片などのとがったものや、判断できないものに関しては、吐かせずに急いで病院に行きましょう。

## お医者さんに伝えましょう



1 「いつ」「何を」「どのぐらいの量」飲みましたか?

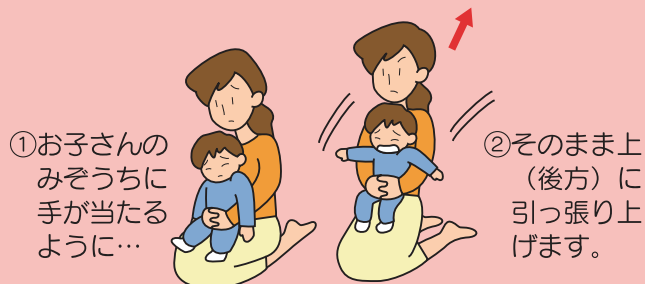
2 嘔吐はありましたか?

☞ 飲み残しの容器、吐いたものなどをとっておいて、受診の際、お医者さんにみせましょう。

### 吐かせるために

- 飲みこんだとき  
指をのどの奥に入れて舌を押し下げる。
- のどにつままっているとき
  - ① 頭を下にして、背中をたたく。
  - ② 後ろからお子さんのおなかの前で手を組み、お子さんのおなかを上後ろ方向に強く引き上げる(図を参照)

### ●ハイムリッヒ法●(乳児は不可)



(※お子さんの口は開けておきます。)

こどもの誤飲は、生後7~8カ月頃から急に増加し、3~4歳頃までよく起こります。特に1歳前は、手に触れる物すべてを口に持っていきますので注意が必要です。小さな物はこどもの手の届かないところに整理しましょう。

また、誤飲事故で最も多いものは、たばこです。たばこの誤飲は、急性ニコチン中毒を引き起こすことがあります。たばこや灰皿は乳幼児の手の届かないところに保管するなど、取扱いや置き場所に細心の注意を払いましょう。



## どのようなやけどですか？

痛みがひどく、水ぶくれができている広範囲のやけど

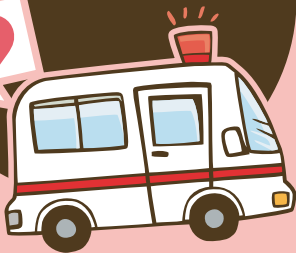
はい

いいえ

やけどをしたときは、  
流水や氷で急いで  
冷やしましょう！

救急車を呼び  
ましょう

119



- 水ぶくれができています。
  - やけどの面積がお子さんの手のひらの大きさか、それ以上である。
  - やけどの場所が関節部分や手のひら。
  - やけどの部分が白あるいは黒くなっている。
- 当てはまる状態を「はい」とした場合

「はい」が1つ以上

「はい」がない

休日夜間急患セ  
ンター等を受診  
しましょう。

やけどの面積がお子さんの手のひらより狭く  
(指先など)、赤くなっているが、水ぶく  
れはない。

様子をみながら診療時間になるのを待って  
かかりつけ医の先生に診てもらってください。

やけどの重傷度の判断は、極めて難しいので、判断がつか  
ない場合は、医療機関を受診しましょう。





## どのような症状がみられますか？

- 打った部分がへこんでいる。
- 意識がない。
- 出血が止まらない。
- けいれんがある。
- 何回も吐く。

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が  
1つ以上

「はい」が  
ない

- すぐに泣かずに、泣くまで数十秒かかった。
- 顔色が悪く、吐いたり吐き気がある。
- 出血している。
- 大人の親指以上のたんこぶがある。
- ブヨブヨと腫れてきた。

症状がみられたものを「はい」とした場合

「はい」が  
1つ以上

「はい」が  
ない

休日夜間急患センター等を受診しましょう。

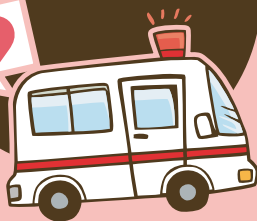
- 頭を打ってもすぐに泣き、顔色も変わらず、その後は元気がある。
- 大人の親指ほどもない大きさのたんこぶがあるが他の症状がない。
- たんこぶがなく、他の症状もない。

この欄にしか「はい」がない。

様子をみながら診療時間になるのを待ってかかりつけ医の先生に診てもらってください。

救急車を呼び  
ましょう

119



ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患センター等を受診しましょう。



# かけがえのない地域医療を守るため

## 地域医療の今 ～産科・産婦人科医師や小児科医師の不足～

現在、県内では人口10万人当たりの医師の数がほとんどの地域で全国平均を下回るなど、深刻な医師不足となっています。

全国的にも不足といわれている産科・産婦人科医師や小児科医師数も全国平均を下回っている状況にあります。

(平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省))

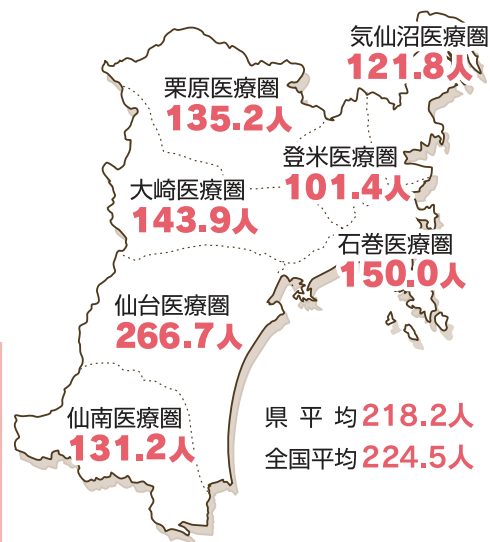


15～49歳女子人口10万人当たり産科・産婦人科医師数  
宮城県39.5人(全国平均39.8人)

15歳未満人口10万人当たり小児科医師数  
宮城県154.9人(全国平均174.7人)

[診療科名(複数回答)]

医療圏別人口10万人当たり医師数



## 一人一人ができること

地域医療を守るためには、医療関係者や行政などの取り組みだけではなく、県民のみなさん一人一人の協力が必要です。普段から次のようなことを心がけるようお願いします。

### ◇かかりつけ医を持ちましょう

### ◇急病以外は診療時間内に受診しましょう

診療がスムーズに受けられるのは医療機関のスタッフがそろっている診療時間内です。急病以外は診療時間内に受診しましょう。また、お子さんの急病などで診療時間外に医療機関を受診したほうがいいかどうか迷ったときは、このガイドブックや、「宮城県こども夜間安心コール」などの相談窓口や情報を活用しましょう。

### ◇健診は必ず受けましょう

乳幼児健診や妊婦健診は、健康の状態を知ることができる大切な機会です。健診を受けることで早期に病気を発見し症状が軽いうちに治療を行うこともできます。健康を守るため欠かさず受診しましょう。



## 地域医療を守るため

### ●医療機関間の機能分担と連携を進めています

緊急時などにも対応できる安全で質の高い医療を提供していくためには、複数の医師によって診療を行う体制を整えていく必要があります。

このため、県では、医師や県民の代表の方々と構成されている「宮城県周産期・小児医療協議会」の意見をいただき、今後の産科・小児科医療の提供について目指すべき方向性を示した「産科・小児科医療資源の集約化・重点化計画」を平成20年に策定しました。

計画では、産科医療については、県北地域で医療資源を集約し緊急時等にも対応できる診療体制を整えるとともに、医療機関間の連携を図っていくこと、また、小児科医療については、今後、重点的に医療資源の充実を図る医療機関を定め体制の整備を行っていくこととしています。

県では、計画に基づき、関係の方々とともに、県民のみなさんに安全で質の高い医療を効率的・効果的に提供できる体制づくりを進めていきます。

「産科・小児科医療資源の集約化・重点化計画」は宮城県保健福祉部医療整備課のホームページでご覧になれます。〔県医療整備課ホームページ<http://www.pref.miyagi.jp/iryou/>〕

### ●医師の確保に取り組んでいます

また、県では、医師の確保に積極的に取り組んでいます。

全国から医師を募集し、県職員として採用して県内自治体病院に派遣する「宮城県ドクターバンク事業」や、将来県内の自治体病院に従事する意欲のある医学生などに修学資金を貸し付ける「医学生修学資金等貸付制度」を実施しています。

さらに、県内の自治体病院の求人情報や地域医療に関心を持つ医師の情報を登録し、医師と自治体病院の間を仲介する「みやぎドクターキューピット事業」なども実施し、地域の医療の充実に取り組んでいます。



# かけがえのない地域医療を守るため

## はじまっています

### ●産科医療機関の連携

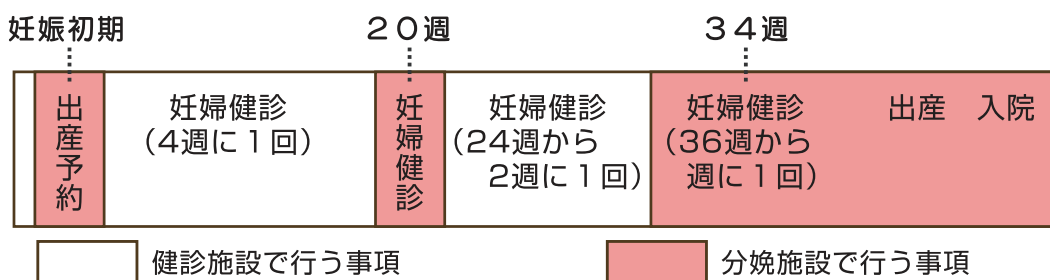
「産科セミオープンシステム」という言葉を聞いたことがありますか？

これは、通常の妊婦健診は身近な診療所で、お産はスタッフや設備が整った病院で行うシステムです。

妊婦は、このシステムを利用することにより、自宅や職場近くの診療所（健診施設）で妊婦健診を受け、**設備が整った病院（分娩施設）**で安全、安心な出産を行うことができます。

現在、仙台地域と県北地域で「産科セミオープンシステム」による医療機関の間の連携が行われています。

### 産科セミオープンシステムを利用した妊産婦の健診・出産の流れ例



### ●助産師外来

正常な妊娠経過をたどっている妊婦などを対象に、助産師が中心となって妊婦健診やケアを行うシステムです。

仙台市内では東北大学病院、仙台医療センター、東北公済病院、光ヶ丘スペルマン病院、県北地域では登米市立登米市民病院、栗原市立栗原中央病院、南三陸病院に設置されています。

通常の妊婦健診とは違うリラックスした雰囲気の中で、困ったことや悩みなどを相談してみましょう。

詳しい内容は、各医療機関にお問い合わせください。

# 診察を受けるときに

## 診療時間内に受診しましょう

医師や看護師など医療機関のスタッフがそろっていて、診療がスムーズにできるのは、診療時間内です。昼間から熱があるなど、普段の様子と違うなと思った時は診療時間内に早めに受診しましょう。

また、「かかりつけのお医者さん」を決めて受診し、日ごろからお子さんの状態をよく把握してもらうことも、自分の様子をうまく言葉で説明できない小さなこどもの変化を見逃さないようにするために大切なことです。

### 【かかりつけのお医者さんをさがすには】

「宮城県医療機能情報提供システム」をご利用ください。  
県内の医療機関の所在地や診療科、診療時間などの情報を提供しています。  
また、システムでは、「今、診療を行っている医療機関を調べたい」といったように、いろいろな条件にあった医療機関をさがすことができます。  
ホームページ <http://medinf.mmic.or.jp/>

休日や夜間に、急な発熱やケガがあったときにあわてないように、あらかじめ休日や夜間に診療を行っている医療機関を確認しておきましょう。

## お子さんを連れていく人は？

お子さんの様子について、よく知っている人が連れていってください。症状やいつもと違う様子について説明できる人が連れて行きましょう。

## 持っていくものは？

- 保険証
- 母子健康手帳
- 診察券
- 医療費受給者証
- こどもの状態が分かるもの  
(体温などのメモ、異物を飲んだときの飲み残しの容器など)
- 飲んでいる薬や薬の名前が分かるもの  
(お薬手帳など)

着替えや替えのオムツ、お気に入りのおもちゃなども持っていくと便利です。

## お医者さんに伝えることは？

いつから、どういう症状があったのかを伝えましょう。

お医者さんに聞きたいことがあるときは、忘れないようにメモをしていきましょう。



## 休日・夜間の急な病気やケガをしたときに…

### ■宮城県こども夜間安心コール

応急処置などの対応方法等の相談を受け付けています。

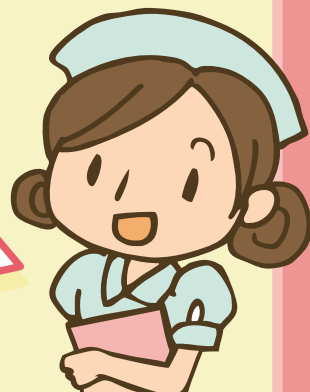
○電話番号 #8000 (プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)  
022-212-9390 (プッシュ回線以外の固定電話、PHS等から)

○相談日時: 毎日 午後7時～翌朝午前8時

### ■こどもの救急ホームページ <http://www.kodomo-qq.jp/>

休日や夜間などの診療時間外に医療機関を受診するかどうか、判断の目安などを情報提供しています。

(監修: 厚生労働省研究班/社団法人日本小児科学会)



### かかりつけの医療機関

医療機関名:

.....

電話番号:

.....

診療日:

.....

診療時間:

.....

メ モ:

### 緊急のときの医療機関

医療機関名:

.....

電話番号:

.....

診療日:

.....

診療時間:

.....

メ モ:

### 緊急のときの医療機関

医療機関名:

.....

電話番号:

.....

診療日:

.....

診療時間:

.....

メ モ: